

進路広報

平成30年3月7日発行
千葉県立船橋二和高等学校
進路指導部

自分で自分を決定する力

校長 三木 信夫

「君たちはどう生きるか」というタイトルの本があります。次のステージへ向かう皆さんにぜひ読んでもらいたい本です。ちょっと難しいならば漫画版もあります。もう読んだという人は、繰り返し読んでみてください。新たな発見があるはずです。この本は1937年に出版され、80年たった今も読み継がれ高い評価を受けています。2月現在、書籍と漫画版合わせて134万部を突破したそうです。いつ出会ってもその時の読者に何かを残してくれます。私は、学生時代、教授に薦められて読みました。この本の中にはいくつもの心に残る言葉があります。全部を紹介したいところですが、それは自分で読んで考えてほしいのです。ここでは、一つだけ皆さんに贈ります。「僕たちは、自分で自分を決定する力をもっている」

就職予定の皆さん。就職内定者による「決意表明式」では、各自が自分の就職先と入社後の抱負等を発表しました。皆さんの適度な緊張感とそれを見守る企業の方や本校職員の温かい目が印象に残る記念の式となりました。皆さんの表情、姿勢、発表の声は堂々としていて、頼もしいものでした。昨年4月の就職講座開講式からこの日まで、地道に努力を続けた結果です。式の中でも話をしましたが、「あなたが会社を選んだように、会社もあなたを選んだ。自信を持ってそこで何ができるか考えて一歩ずつ進んでほしい」、まさに「自分で自分を決定する力」を発揮してこの道を選んだ皆さんが、それぞれの職場で活躍してくれることを祈念します。

上級学校に進学予定の皆さん、在校生の皆さん。今後の学校生活をイメージできていますか？皆さんも将来は、職業を選択し、社会人の一人として、さまざまな分野で活躍することでしょう。他に流されることなく「自分で自分を決定する力」を磨いて、最善の路を進んでくれることを願っています。

日々の努力を大切に

進路指導主事 中馬 丞

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。在学中は充実した三年間を過ごしたことと思います。旅立つ先は、進学・就職・進学への再挑戦と様々です。しかし、思いは一つ、これからの生活への「希望」だと思います。

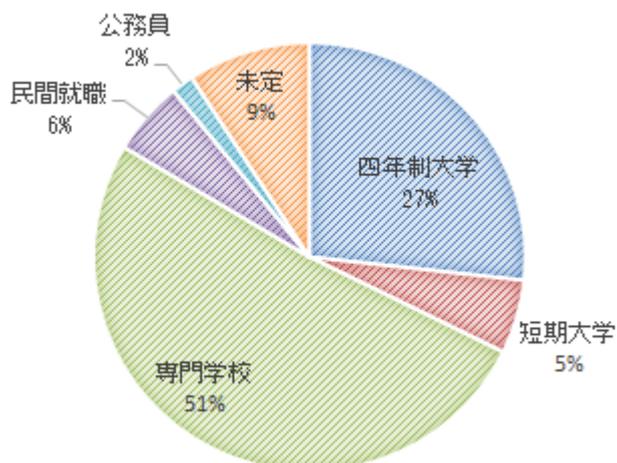
希望する進路を目指すためにとても大切なことがあります。それは、基礎力をしっかりと定着させて、応用力を身につけることです。そのためには、何度も何度も繰り返すことがとても重要です。基礎力とは、学校で学ぶ各教科の基礎知識、文章を書く力、時事の出来事に対する興味や関心、人と話すときの言動や態度など、いろいろとあります。これらは短期間では決して養われるものではありません。日々の努力の積み重ねによって身につけていきます。高校生活で養った基礎力は、日々の努力の集大成なのです。

希望の進路を実現した三年生は、強い意志をもって努力したに違いありません。

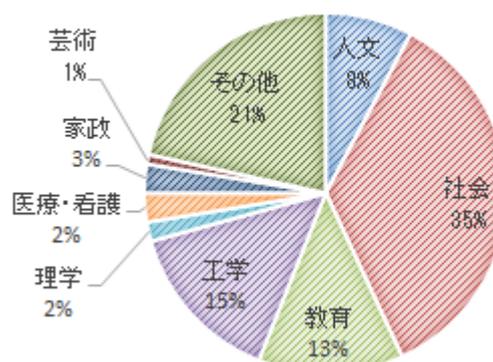
一、二年生の皆さん、高校生活の中で繰り返しの時間をできる限り多くつくって、一日一日を大切に過ごし、努力してほしいと思います。そうすれば、必ず希望の進路が実現されるはずです。

皆さんの希望に満ちた将来を期待しています。

進路先 (H30.2.28現在)



進学する大学・短大の専門分野 (H30.2.28現在)



1. 3年生の進路指導

(1)進学(大学・短大)

大学・短大進学決定者の入試形態(2018.2.28 現在)

単位：人

		指定校推薦	公募推薦	AO	一般	計
大学	男子	34	8	16	8	66
	女子	17	4	9	0	30
	計	51	12	25	8	96
短大	男子	1	0	1	0	2
	女子	9	0	9	0	18
	計	10	0	10	0	20

上の表にあるように2月28日現在、本年度の卒業生の進路として、大学96名、短大20名の進学が決まっています。計116名という数字は昨年度に比べ19名の増加となっています。指定校推薦・公募推薦・AO入試がほとんどといえるものの、今年度は、センター試験の受験者12名、一般受験20名の生徒がいます。専攻分野としては工学・教育系への進学を目指す生徒が増えた印象があります。看護系では指定校推薦の枠が希望者に対して足りず、公募推薦・一般受験にまわったことも一般受験増加の一因かと思われます。また、指定校推薦・公募推薦・AO入試ではなく一般入試で上位校を受験する生徒も出てきました。浪人覚悟の生徒もいるため未定者も何人か出そうです。次年度以降も、この傾向が増加していくことが予想されます。

『大学・短大を受験するにあたって』

* 学習の積み重ね

毎年のことですが、3年生になってからもっと勉強しておけば良かったと後悔する生徒が多く見られます。特に推薦を考えている生徒は1年生から評定平均を意識した学習が必要でしょう。3年生の1学期になってからあせっても限界があるように思います。今年度の看護系の指定校推薦の取り扱いなど考えると、積み重ねた頑張りが必要でしょう。また、新聞やニュースを日頃から見ておくことも、習慣にしたいものです。

* 挨拶の積み重ね

各推薦入試、AO入試では面接が重視されます。その場限りの付け焼刃の言葉は見抜かれます。普段から挨拶・正しい言葉遣いを意識しましょう。職員室の入室の仕方など、日常から心がけてください。

* 生活習慣の積み重ね

欠席・遅刻はなくて当たり前の姿勢で臨んでください。自己管理をしっかり行いましょう。皆勤は自分を売り込むための武器になります。欠席すると、その分を取り返すには2倍の時間がかかるでしょう。

* 情報の積み重ね

進路資料室、インターネットなどを利用して情報を得てください。情報を元に色々な学校のオープン

キャンパスや説明会に足を運んでください。実際に行ってみることは重要です。その学校の雰囲気はもちろん、通学時間、交通費も分ります。大きな金額を払って進学するわけですから、そこで何を学びたいのか、その先の就職も頭に入れておくことも大切かもしれません。

大学・短大はたくさんあります。しかし、40%の大学が定員割れをしており、大学も生き残りにかけて努力をしています。安易な進学をして、進路変更を余儀なくされることもあります。奨学金を借りる人も多いと思いますが、退学してしまうと借金だけが残ることになります。

今までAO入試はほとんど合格する印象でしたが、今年度は中々合格できない状況でした。面接だけでは合格できなくなっています。基礎学力の充実が望まれます。同じように推薦においても、学力を問われることが多くなってきています。

一般受験の人は、予備校などに行くことが必要だと思います。また、受験勉強が大変だった分、入学がゴールになりがちかもしれません。しかし、ゴールはその先にあります。入学後に向け更なる努力をしてください。

(2)進路(専門学校)

専門学校進学決定者の入試形態(2018.2.28 現在)

単位：人

	指定校推薦	公募推薦	AO	一般	計
男子	17	23	44	6	90
女子	29	23	37	5	94
計	46	46	81	11	184

専門学校進学決定者の専門分野(2018.2.28 現在)

単位：人

工業	農業	医療	衛生	教育福祉	商業実務	服飾家政	文化教養
42	1	36	29	13	33	5	25

①本年度の志望状況と指導について

本年度の専門学校進学者は、3年生359名の内184名で、3年生全体の51%でした。1年生から進路ガイダンスなどのキャリア教育を行なってきました。同時に、放課後の公務員試験勉強会、進学資金についてのマネーガイダンスを保護者向け、生徒向けに行いました。また、生徒に奨学金の説明についても行いました。

②専門学校を選択するに当たって

専門学校は職業に直結し、実践力を養うための学校です。将来の職業をはっきりと意識することが大切です。目標を持たない人は専門学校を選ぶことができません。自分の目指す職業がどのような道なのか、資格取得のこと、就職面はどうなっているかなど、学校案内のパンフレットや見学ばかりでなく、他からも情報を集めることもして欲しいと思います。また、自分の就職したい地域がある場合、その地域での就職面はどうかなどを確かめる必要もあります。

③入試について

入試の方法は指定校推薦、公募推薦、AO入試、一般入試があります。従って、看護系を一般入試で合格した人以外は推薦入試とAO入試での合格です。

推薦入試は、学校の成績や出欠席、部活動など学校での生活が重要になります。校内選考もあるので、1年生からの継続した努力が自分の選択肢を広げることにつながります。学校から配布される「進路のしおり」をよく読んでおきましょう。

AO入試は、進学希望校の教育方針や望む生徒像にいかに関一致しているかを見極める試験なので、目標がしっかりと定まり、向上心がはっきりとあることを示せることが必要になってきます。また分野によっては筆記試験を課す場合もありますので注意が必要です。特に看護系は予備校に行くなどの準備も必要です。エントリーから自分で行うので事前に前年までの情報を集めて準備しておく必要があります。エントリーをするときは必ず学校に届出をしてください。

文責 山田 広美

(3)就職

①今年度の就職状況について

2017年にアメリカで登場したトランプ新政権の影響はまだ不透明ではありますが、日本では依然経済の持ち直しに向けた動きが多く見られます。製造業をはじめ建設・保安部門なども東京オリンピックに向け雇用を促進しています。さらに団塊の世代の退職に伴う、企業の人材不足も雇用増大の背景にあると考えられます。

今年度は就職斡旋希望の生徒18名が夏休みに会社見学を行いました。中には複数の会社見学に行った生徒もいます。その後、保護者や学校職員と相談を行って受験企業を検討し、面接練習や筆記試験の問題を繰り返し解いて、9月16日から始まる入社試験に備えました。生徒の頑張りや学校職員の協力によって、無事全員が内定を得る事が出来ました。(斡旋希望者は2名増え、現在計20名が内定をいただいています。)

入社試験で実施されるのは筆記試験と面接試験です。この中で特に企業側が重視するのは面接試験です。そこでコミュニケーション能力の有無や入社に対する熱意などが問われます。

また、公務員試験受験者は、千葉県庁1名、鎌ヶ谷市役所1名、千葉県警察2名、東京消防庁1名、習志野市消防局1名が合格しています。

②2017年度 主な就職(斡旋)内定企業

男子		女子		2018.2.28 現在	
企業名	職種	企業名	職種		
エイケンサービス	技術	国際空港上屋	技術		
日本企画	技術	西濃運輸 東京支店	技術		
テックス	保安	テックス	保安		
ロジスティックオペレーションサービス	技術	セブンイレブンジャパン	販売		
一九堂印刷所	製造	朋和産業	事務		
藤田鋼板リース	技術	ヒダン 船橋工場	製造		

その他9社

③1・2年生就職希望の生徒へ

就職希望者に求められることは、次の3点ではないかと思います。

- (1) 挨拶 (2) 健康 (3) 基礎学力

挨拶は、人と人とのコミュニケーションの入口です。まずは、ここからです。そして、言葉遣いや服装へと気持ちが行き渡れば予選は突破です。

健康は、何よりも大切なものです。健康管理に気を配り、休まずに元気に高校生活を送ることが求められます。

基礎学力は、外からは見えませんが、日常の何気ないやり取りに現れます。仕事、人間関係、そして社会生活全般における土台です。

以上3点を身に付けるためにはどんな高校生活を送ればよいのか。よく考えて日々行動に移してもらいたいと思います。

文責 松本 直人

2. 1年生の進路指導

[今年度の進路指導]

- (1) 進路希望調査（1学期と2学期に実施）
- (2) スタディサプリ到達度テスト（1学期と3学期に実施）
- (3) 進路ガイダンス・マナー講座（1学期）
- (4) 分野別ガイダンス（1学期）
- (5) 作文ガイダンス・作文模試（2学期）
- (6) 学校別ガイダンス（2学期）
- (7) 教員志望者対象セミナー「せんせいっていいもんだ」（2学期・希望者）
- (8) 進路指導部講話（3学期）
- (9) 学費についての調べ学習（3学期）
- (10) 一般常識テスト（1年間通して実施）

1学年の進路指導においては、「自分に合う進路を見つけるために、進路選択の基本的な考え方を学ばせる」ことを目的として、一年間様々な行事に取り組んできました。

1学期の始めに行った進路希望調査では、進路について具体的に考えている生徒も多かったようですが、自分が何に向いているかまだ分からない生徒も見られました。昨年と比べ、進学希望者の割合が多い傾向にありました。

5月の始めには、スタディサプリ到達度テストを行いました。スタディサプリは今年から導入され、パソコンやスマートフォンで映像授業を視聴することができ、生徒たちの学習習慣の定着に役立っています。到達度テストは、自分が今どの教科のどの分野が苦手なのかを正確に把握することができ、学び直しのきっかけとなりました。

5月と11月に行った分野別・学校別ガイダンスでは、それぞれ興味がある分野の大学・短大・専門学校の方から話を聞き、より具体的に将来について考えました。本年度は就職についての講座も船橋ハローワークの協力で企業の方から具体的な話を聞くことができました。

5月中旬に行った進路ガイダンスは、職業観を身につける内容で、5限目：プロの劇団による寸劇鑑賞、6限目：専門の講師を招いたマナー講座を行いました。寸劇では、『進路に悩んでいるんだけど』『フリーターでずっと働き続けたら』という2つの劇を観賞し、将来を今から考える大切さについて考える事ができました。マナー講座では、電話対応の仕方や職員室の入退室の仕方など、社会人としてのマナーの基礎や学校生活で活かせることを、実践を交えて学びました。日常生活の中で身につけることがどれだけ進路決定に重要かを学べたと思います。

1月上旬に行った作文ガイダンスは、専門の講師を招き、入門編として基礎を学びました。5限に講義、6限に模試を行い、「わたしが熱中していること」「今の学校生活でもっとも大切にしたいこと」という課題で作文に取り組みました。大学入試や就職試験では作文が課されることが多いため、良い練習になったのではないかと思います。

「せんせいっていいもんだ」のセミナーは、希望者に対して放課後行いました。二和高校を卒業して

公立学校の先生になった方と教育委員会の先生を招き、「先生について」の具体的な話を伺いました。

1月には進路指導部の先生から、入試の方法や試験の具体的な内容についての講話がありました。また、同時期に学費についてのガイダンスを講師の方を招いて行いました。将来について「進学」か、「就職」か、といった漠然とした考えだけではなく、自分はこれから進路のために何をすればよいのか、何を知らなければいけないのか、真剣に考え始める生徒も多くいました。

今年度は、2年生から3年生に向けてより具体的になっていく進路選択について、自分の夢や現在の学力に向き合うための進路行事が多く行われました。次年度は、今年度学んだことを活かし、自分の将来のため自主的・積極的に行動して充実した高校生活を送ってほしいと思います。

文責 外川 健大

3. 2年生の進路指導

[今年度の進路指導]

- (1) 進路志望調査 (1学期と2学期に実施)
- (2) スタディサプリ到達度テスト+進路適性検査+事後指導 (1学期)
- (3) 作文ガイダンス・作文模試 (1学期)
- (4) 進路ガイダンス・マネーガイダンス (1学期)
- (5) 学校説明会参加 (大学・短大・専門学校、希望者夏期休業中)
- (6) 台湾大学見学 (2学期、台湾修学旅行)
- (7) 講座「せんせいっていいもんだ」 (2学期・希望者)
- (8) 進路ガイダンス (2学期)
- (9) 公務員試験勉強会 (公務員志望生徒対象、2学期から継続して実施)
- (10) 就職指導 (民間企業就職希望者対象、2学期から継続して実施)
- (11) 推薦、AO、就職についての説明会 (2学期)
- (12) スタディサプリ到達度テスト+進路適性検査+事後指導 (3学期)
- (13) カタリ場 (3学期)
- (14) 志望理由書学習・マナトレ (3学期)

2学年の進路指導は、進路希望の決定に向け、人生設計ができる力をつけることや学力の向上を目標に行いました。

スタディサプリ到達度テストは、学校の学習の理解度を確認できるテストで、年2回実施しました。インターネットを通じて苦手科目克服の講義を視聴したり、配信された宿題を実施したり、学び直しが自由にできる特徴があります。多くの生徒が自主的に学習する習慣がついてきています。学力の向上については、進路先で生徒が活躍できる力をつけることを主眼に、スタディサプリの講義や1年次から継続して取り組んでいるマナトレの実施によって基礎力を充実させることを目標に行いました。また、物事を順序立てて考える表現力をつけるために作文指導も実施しました。丁寧な添削で自己の不足している面が見えたのではないのでしょうか。

1学期の進路ガイダンスでは、進路を含めて、生涯にどのくらいお金がかかるかをワークショップ形式で学びました。その中では、アルバイトで高額収入を得ることが不可能なことや奨学金の現実を学ぶことで生徒には大きな驚きがあったようです。2学期のガイダンスは様々な学校の説明を聞き、3学期の志望理由書練習に結びました。また、就職希望者にはガイダンスの中でハローワークによる企業説明会を実施しました。(民間企業就職希望者は春休みにハローワークでの学習が始まります。)

公務員希望者には、放課後を活用し、外部講師による勉強会を実施しました。1年次より真剣に公務員になりたいと希望している生徒が多く、意欲的に学習しています。

3学期は目前に迫った3年へのステップとして、自己分析と生涯の目標を確認するために志望理由書の練習を2ヶ月かけて行いました。カタリ場の実施やインターネットを通じた講義の視聴も並行し

て行い、多角的に進路を捉える姿勢を養いました。台湾修学旅行では台湾大学の見学も実施し、グローバルな進路意識も育ててきました。この1年間を通じ、目の前の進路目標のみならず、長い目で見た自分の進路設計ができる力が少しずつついてきたのではないのでしょうか。3年次には、進学希望者の勉強会も実施する予定です。さらなる実力をつける努力を怠らずに、夢を持って挑戦する力をつけて欲しいと思います。

文責 宮原 志司子